



●アトピー性皮膚炎治療について●

皮膚科 幸野 健

アトピー性皮膚炎は代表的なアレルギー性疾患ですが、不思議なことに、開発途上国で少なく先進国ほど多い傾向があります。つまりアレルギーだけでなく、ストレスや生活習慣などが関連する現代病の一つであるということです。

大きく進展したアトピー性皮膚炎治療

従来、ステロイドの副作用が心配されてきました。近年、研究が進み、どの程度のステロイドをどのくらい使用すれば副作用が出ないかということも分かって来ました。重要なことはスキンケアで保湿薬をバランスよく使用することで再発を防ぎ、ステロイドの使用量も減少できるということです。関西労災病院の皮膚科外来ではこれらを細かに指導させていただきます。



新しい免疫抑制療法

アトピー性皮膚炎は、ある意味、免疫力が強すぎて起こる病気です。最近、免疫抑制剤を外用・内服する治療が脚光を浴びるようになってきました。ステロイドを全く使用せずに治療することも可能です。重症の方、今までの治療で反応しなかった方には免疫抑制薬の内服治療が有効です。当初は感染を起こしやすくなったり、血圧が上がったりしますので(軽い症状だけです)、短期間入院して治療を開始されることを是非おすすめします。

総合的な治療が重要です

アトピー性皮膚炎ではスキンケアやアレルギー対策だけでなく、食生活の適正化やストレス対策が非常に重要です。漢方薬を用いた体質改善治療もおすすめできます。これらについてご相談のある方は是非ご来診ください。

入院治療も一つの賢い選択肢です

数日、のびのびと入院して自分の皮膚とアトピー性皮膚炎について、我々と共に考えてみるのも非常によい方法です。それから今後の生活方針を考えてみませんか？

～★～ 平成21年度腎臓病教室 ～★～

日時：平成21年8月1日(土) 14:00～  
 場所：関西労災病院 管理棟2階C D会議室  
 内容：医師、看護師からの話  
 管理栄養士からの話(栄養管理について)  
 ソーシャルワーカーからの話(社会保障について)  
 ※無料ですので是非ご参加ください。

夏の夕べ ★～ サマーコンサート ～★

日時：平成21年8月27日(木) 17:30～  
 場所：関西労災病院 玄関ホール  
 主催：患者サービス委員会



平成21年度「糖尿病スクール」スケジュール予定(後半)

月/日	医師	看護師	薬剤師 予防医療センター	栄養士	歯科衛生士 臨床検査技師	特別講演	資料・展示
7/16		教育入院と 看護相談外来のご紹介	快眠のコツ	人工甘味料と 健康食品	検査とデータの 見方・考え方		血糖測定器 フードモデル 資料など 
8/20	糖尿病 網膜症		口より体を 動かそう	調味料と食塩に ついて			
9/17	糖尿病 腎症		トピックス	腎症の食事		尼崎医師会医師 金山 拓司 先生	
10/15	糖尿病と 心臓病	冬の足の清潔 (フットケア)	高血圧・高脂血症	高脂血症の食事			
11/19	昼食会		寒い冬の過ごし方	外食・院内 食堂の利用			
12/17		旅行などの イベント時の過ごし方	クスリの飲み方と 飲み合わせ	年末年始の食生活	口の病気②		

理念

●● 良質な医療を働く人々に、地域の人々に、そして世界の人々のために ●●

基本方針

- ・私たちは、働く人々の健康確保のための医療活動、即ち「勤労者医療」の中核的役割を担ってこれを推進します。
- ・私たちは、急性期医療機関として良質で安全・高度な医療の提供を行うとともに、地域の諸機関と連携して地域医療の充実を図り「地域に生き、社会に応える病院」としての発展を目指します。
- ・私たちは、患者様の権利を尊重し、医療の質の向上ならびに患者サービスの充実に励み、「信頼され、親しまれる病院」作りを心がけます。
- ・私たちは、「開かれた皆様の病院」として、ボランティアや有志の方々の病院運営への参加・協力を歓迎します。
- ・私たちは、病院使命の効果的な実現のために「働き甲斐のある職場」作りを行い、運営の効率化と経営の合理化を推進します。